

事例紹介シート

①学校名	京都府立丹波支援学校
②教科・領域 科目等	総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間
③単元名	赤ちゃんとおふれあおう
④目標	○赤ちゃんについての学習やおふれあいを通して、命の存在の尊さを知る。 ○おふれあい体験の中で、赤ちゃんが喜ぶ関わり方を意識して関わる。 ○赤ちゃんとの生活をイメージし、お母さんへの質問を考えて質問する。
⑤受講者	中学部 6 組・高等部 9 ～13 組（47 名）
⑥連携先	特定非営利活動法人グローアップ
⑦内容 ・取組の特徴 や工夫 等	1 事前学習 (1) 命について考える／赤ちゃんが喜ぶおもちゃについて考える (2) 赤ちゃん人形抱っこ体験／おもちゃ作り／質問を考える 2 乳幼児おふれあい体験 (1) 赤ちゃんとおふれあうときに気を付けることを確認する。 触れるときには確認／優しい声で／笑顔で (2) 3つのグループに分かれ、おふれあい体験をする。（1グループに親子1組） →赤ちゃんを抱っこしたり、手作りおもちゃで遊んだりする。 →考えた質問をもとに、赤ちゃんとのかかわりや子育て等についてお母さんと話をする。 (3) 妊婦体験 →お腹が大きくなったときの感覚や生活の大変さを体験する。     (4) 質問や感想を全体で交流する。 子ども中心の生活で自由な時間がないのでは？ 一人の時間は大切。赤ちゃんのためにも、自分のためにも。子育ては一人ではできません。いろんな人の助けを借りていますよ。 赤ちゃんが何をしたいか分かりますか？ 分らないです。だから聞かし、考えるし、探り合いです。はじめからお母さんではないので…。コミュニケーションが大事ですね。
⑧成果・生徒 の感想等	○貴重な時間でした。こんなにか弱い存在から成長していくんだとわかりました。 ○赤ちゃんとのおふれあいで笑顔になりました。 ○自分たちが作ったおもちゃを喜んでくれてうれしかったです。 ○お母さん達は、周りに助けられながら、子どもと一緒に成長していると言われていたけど、お母さんは強くて偉大だと感じました。 ○妊婦体験では重さを感じて、物を拾うのも大変でした。 ○子育ては一人ではできないこと、協力し合うことが大切だということがわかりました。